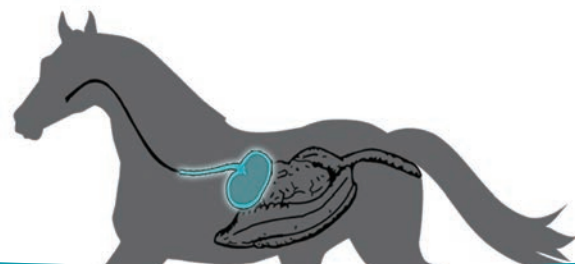


EQUINE FIRST

COOL CARE

エクワイン・ファースト・クール・ケア



CASTRIC SUPPORT FOR HORSES 馬の胃のサポート



NET Content 2.27kg (5Lbs.)

エクワイン・ファースト・クール・ケアは、運動や調教に伴う日常的なストレスで負担のかかった胃腸の健康をサポートするためにお使い頂くことをお勧めします。

胃の正常なpH維持を助け、腸の保護膜のサポートにもなります。



有効成分	含有量	有効成分	含有量	有効成分	含有量
炭酸カルシウム	10,000 mg	マンナンオリゴ糖 (MOS)	6,000 mg	グリシン	1,000 mg
L-グルタミン	10,000 mg	ホエー・プロテイン・コンセントレート	3,000 mg	ドコサヘキサエン酸 (DHA) (海藻)	1,000 mg
サッカロマイセス・セレビシエ	10,000 mg	フラクトオリゴ糖 (FOS)	1,500 mg		

※給与量は1日あたり85g

炭酸カルシウム 目的は制酸及びコーティングです。馬に炭酸カルシウムを与えると、その緩衝作用によって、胃液のpHが全体的に上がります。食餌に炭酸カルシウムのような緩衝バッファー効果のあるものを加えることは、馬の胃のpHを上げるのに有効であることが明らかにされています。この原料は、鉱物由来であり、動物由来のものではありません。この成分は、胃の中で、胃酸の中和を助け、組織をコーティングする働きをします。

L-グルタミン グルタミンは、アミノ酸であると同時に上部消化管にとって好ましいエネルギー源であり、胃腸粘膜の成長と働きに欠かせないことが明らかにされています。腸粘膜に損傷が生じると粘膜バリアが壊れてしまいますが、これを修復し正常に維持するのにグルタミンが必要とされます。また、L-グルタミンは、分泌型IgAの合成と発現にも必要で、損傷を受けた粘膜細胞の治癒を促す働きをします。過去20年間にわたる栄養学及びL-グルタミンの代謝に関する研究を通じて、L-グルタミンがヒト及び動物の腸粘膜バリアにとって決定的に重要であることが明らかにされました。粘膜バリアが損なわれている時にL-グルタミンを補給すると、バリアを回復できます。さらに、L-グルタミンの摂取量の不足は腸の病気や粘膜バリアの機能不全につながりますが、L-グルタミンを添加すればこうした影響を軽減できます。また、食餌を通じたL-グルタミンの添加は、腸細胞間のタイトジャンクション（密着結合）を構成する蛋白質の発現を制御することにより、離乳ストレスによって引き起こされる粘膜バリアの機能不全を軽減することが、研究によって示されています。L-グルタミンは、タイトジャンクション蛋白質の量を増やし、細胞質から形質膜（細胞膜）へのタイトジャンクション蛋白質の局在化を促すことによって、IPEC-1細胞の上皮バリア機能を向上させたことも、研究が示しています。実際、L-グルタミンは、このような仕組みによって、動物における腸粘膜のバリア機能に対して好ましい影響をもたらすのだと考えられています。この成分は、胃と後腸で働きます。腸管組織の健康に関わる重要な役割を果たします。

サッカロマイセス・セレビシエ 後腸のpHを安定させます。サッカロマイセス・セレビシエは、pHを上げ、結腸の酸性度を下げるのに有効であることが、研究によって明らかにされています。馬における研究では、デンプンを多給すると、多量の未分解のデンプンが結腸に達することが明らかにされています。そうすると、ラクトバチルスやストレプトコッカス（連鎖球菌）といったデンプン利用細菌が急速に増え、これらが乳酸を多量に生産し、その量は、馬に高繊維な食餌を与えた場合の4倍にも達しました。一方、デンプン量の多い食餌にサッカロマイセス・セレビシエを加えると、後腸のpHは、より正常になりました。この成分は、後腸で、pHを安定させる働きをします。

マンナンオリゴ糖 (MOS) MOSは、科学的に開発されたもので、サッカロマイセス・セレビシエ酵母の細胞壁から作られています。MOSは、胃腸の健康状態を改善し、それによって、健康全般、エネルギーレベル、パフォーマンスの改善をもたらすことが明らかにされています。MOSは、病原菌にある糸状の線毛に効果的に結合し、病原菌が腸壁に結合できないようにし、病原菌の定着、コロニー形成、そして、病気を発生させるほどの増殖を防止します。MOSと蛋白質の複合体は、動物の免疫系と相互作用し、免疫系の活性を促すことが可能です。MOSは、プロイラーにおいて腸粘膜の完全性向上に効果的であることが明らかにされています。絨毛及び腸表面を保護するために、腸は、杯細胞と呼ばれる特定の細胞から粘液をより多く生産します。一般的に、杯細胞の数が粘液生産量の指標となりますが、MOSを使うと杯細胞の数が増えたことが、研究で確認されています。この成分は、後腸で、有害な細菌を結合し、腸の健康状態を改善する働きをします。

ホエー・プロテイン・コンセントレート (WPC) WPCは、ラットにおいて、潰瘍性病変に対して、高い保護効果を示すことが明らかにされています。ホエー・プロテイン・コンセントレートは、様々な組織でのグルタチオンの合成と、免疫調整物質としてのグルタチオンの働きを促進します。この成分は、胃と後腸で働き、組織の健康を促進します。

フラクトオリゴ糖 (FOS) FOSは、炭水化物のポリマー（グルコース分子で終わるフルクトースの鎖）で、タマネギ、ニンニク、小麦、大麦、キクイモに含まれています。FOSは、非消化性の繊維ですが、粘膜の完全性の回復及び維持を手伝う結腸の有用細菌を助けます。キクイモに多く含まれている長鎖FOSであるイヌリンは、結腸で、大変有用性の高い短鎖脂肪酸である酪酸、酢酸、プロピオン酸に変換されます。繊維の細菌発酵から生じる副産物であるこれらの短鎖脂肪酸は、下部腸管及び結腸上皮細胞にとって主要なエネルギー源であり、損傷を受けた細胞の修復と再生に利用されます。この成分は、後腸で、腸組織の健康を促進します。

グリシン グリシンは、側鎖が水素原子1つのアミノ酸で、最も単純なアミノ酸です。グリシンは、細胞保護効果がよく立証されており、哺乳動物の腸を虚血再灌流傷害から守ります。中性アミノ酸であるグリシンの、胃酸分泌抑制効果と、薬剤誘発性及びストレス誘発性の胃潰瘍に対する胃粘膜保護効果を調べた研究があります。この成分は、胃で働き、胃酸の緩衝剤となって胃の組織を助ける可能性があります。グリシンは、腸内で細胞保護剤として働き、無毒性であることが（高濃度でも）確認されており、腸の不調に対して治療的又は予防的な役割を果たすと考えられます。

ドコサヘキサエン酸 (DHA) DHAは、ヒトの脳、小脳皮質、皮膚、網膜の主要な構成成分であるオメガ-3脂肪酸の一つです。DHAは、ヒトと動物において、炎症を抑え、治癒を促進することが明らかにされています。この成分は、胃と後腸で、組織の分解やそれに続く潰瘍化するおそれのある炎症を低減する働きをします。

その他の (非有効) 成分

半硬化植物油と乾燥ホエー これらは、ペレット・バインダーとして、ペレット成型時の潤滑剤となるように、また、嗜好性を向上させるために、加えられています。

使用方法

エクワイン・ファースト クール・ケアは、以下の用量・用法に従ってお使い下さい。

毎日使用量：1日1頭あたり85g
(付属のスプーンで3杯)

運動の30～60分前に投与して頂くと最も効果的です。

※上記用量は、体重450kgの馬を基準としています。

●弊社アドバイザー

Stephen Duren M.S., Ph.D., PAS
スティーブ・デュレン博士

アイダホ州ソーダスプリングス生まれ。
アイダホ大学で動物科学における理学士号を取得後、
ケンタッキー大学で馬の栄養学と運動生理学における
理学修士号 (M.S.) 及び博士号 (Ph.D.) を取得。
主たる研究テーマは、競走馬に対する油の給与と、給
餌した場合と絶食させた場合の馬の運動中の血流分
布の変化。
アメリカの動物科学者の登録組織 American Registry of Professional Animal
Scientists に正会員として登録。馬科学会 (Equine Science Society) 所属。



(輸入元)

EBM Trading Japan KK
Evidence-based Biotechnology and Machinery

(販売元)

EBM JAPAN
Equine Business Management Japan, INC.